

総合工学委員会・科学的知見の創出に資する可視化分科会  
ICT時代の文理融合研究を創出する可視化小委員会  
(第24期・第3回)

議事録

●開催日時 令和2年4月6日(月)11:00-12:00

●開催場所

遠隔会議 (主催会場：立命館大学 びわこ・くさつキャンパス

クリエーション・コア4F コンピュータ・グラフィックス第1研究室)

●参加者(敬称略)

田中(立命大), 小山田(京都大), 加藤(東洋大), 北川(サイバネット), 坂野(NICT),  
坂本(神戸大), 鹿内(亜細亜大), 鈴木(立命大), 土田(東洋大), 長谷川(立命大),  
畠中(富士通), 宮地(東京都市大), 李(立命大), 青木(東洋大, オブザーバ参加)

●議題

1. 第24期報告「科学的知見の創出に資する可視化 ―文理融合研究と新パラダイム策定―」の(案)について
2. 日本学術会議公開シンポジウム「科学的知見の創出に資する可視化(4) 『6 エリアモデルと新たな計算パラダイム』」開催について
3. その他

●議事録

1. 第24期報告「科学的知見の創出に資する可視化 ―文理融合研究と新パラダイム策定―」の小委員会委員長(田中)の案(資料1)について了承された。合わせて、今後生じる微修正に関しては、委員長に一任された。
2. 日本学術会議公開シンポジウム「科学的知見の創出に資する可視化(4) 『6 エリアモデルと新たな計算パラダイム』」開催に関し、資料2を使って、準備状況が報告された。なお、COVID-19対応による開催の延期・中止の判断や、その他の実施の詳細に関して、小委員会委員長に一任された。
3. その他：
  - 2020年12月に、科学的知見の創出に資する可視化分科会の2つの小委員会の両方のテーマを取り入れて日本学術会議公開シンポジウム「科学的知見の創出に資

する可視化(5)を開催することが承認された。

以上